



同窓会報

2012年3月 <年1回発行>
発行
県立尼崎中学・尼崎高等学校 同窓会
発行責任者
同窓会長 石井良昌



県尼同窓会に思う



同窓会会長

石井 良昌(36回生)

1923年(大正12年)に尼崎市立中学校として創立され、その後、兵庫県立尼崎中学校を経て、新制の兵庫県立尼崎高等学校となり、2013年には創立90周年を迎えます。

県立尼高精神を!!という共通のスピリッツと、この歴史と伝統のある本校同窓会の四代目会長として、平成22年5月15日より就任致しました。

さて、本校同窓会には、初代に鴻池藤夫会長、二代目に野草平十郎会長、三代目に中馬勇会長と立派な会長がおられました。私としましては身の引き締まる思いでございます。

今後とも同窓会会員の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

来年、創立90周年を迎える本校にとりまして、目覚ましい飛躍発展を遂げることが出来たのは、諸先輩をはじめ学校当局、特に柳迫敏博学校長を中心とする熱意溢れる諸先生方、また本校を愛し、勉学に研修に部活に、一生懸命励んだ生徒の皆さん、これらの方々の全ての熱意と愛情の結集の賜物だと信じております。

この機会に本校で結ばれたこれらの方々に心より厚く御礼を申し上げます。また、2013年11月2日の午後には本校創立90周年記念式典をアルカイツクホールで開催し、同日夕方より都ホテルニューアルカイツク3階にて、同窓会による懇親会等を開催する予定となっております。多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

最後になりましたが、本校生徒の皆さんには校訓にある「自主・根性・聡明」の精神を養って、地域に密着した活動を通じ、社会に貢献できる卒業生が多数輩出されることを願ってやみません。

飛躍する県尼

校長 柳迫 敏博



日頃より同窓会員の皆様には、本校に対し、格別なご支援を賜っておりますことを深く感謝申し上げます。

本校は今年で創立89周年を迎えますが、現在の概況を述べますと、校訓である「自主・根性・聡明」の精神のもと、夢や目標に向かって積極的にチャレンジする生徒を育てるとともに、生徒・保護者・地域から信頼される魅力ある学校づくりに邁進しています。また、個々の生徒の進路希望を実現することを通じて、将来地域や社会に貢献できる人材育成にも努めているところでもあります。具体的には、平成21年度から3年間にわたり、県教育委員会の学力向上プロジェクト校の研究指定を受け、学校あげて学習指導・進路指導を強力に推進しています。

さらには、特色ある学校づくりの一環として、平成20年度より特色選抜を実施し、教育総合類型を設置しました。

これについては、「県尼発、先生への道」をキャッチフレーズに、将来教職をめざす地域の人材育成を図っていますが、最近も実績も認められ、尼崎市内の多くの中学生から注目を集めているところです。

一方、部活動においては、近年は柔道部、水泳部、陸上競技部等が近畿大会に出場しており、運動部、文化部問わず多くの部が活発に活動しています。まだまだ往年の盛況を取り戻すところまでには至っておりませんが、いずれ全国レベルで活躍してくれるものと期待しております。また、生徒の「生きる力」を鍛えていくために、キャリア教育にも全面的に取り組んでいます。これについては、その成果が認められ、平成20年度に文部科学大臣よりキャリア教育優秀学校の表彰を受けました。その他、地域連携や高大連携を積極的に進め、地域清掃など様々な地域貢献活動を行ったり、教育総合類型が大学の講義を半年間受講するなど、その取り組みは各方面から評価されているところです。

このように、生徒・教職員が一体となつて、県尼の良き伝統の継承とさらなる革新を目指し取り組んでいることをご報告いたします。

最後に、同窓会並びに会員の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、本校に対しまして、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

県立尼崎高校創立90周年と中馬病院100年の歴史

同窓会名誉会長・前校長 中馬 勇(尼崎中18回生)

我が兵庫県立尼崎高等学校が来年創立90周年を迎えることになったと聞いている(大正12年設立)。秋には祝賀会の開催も計画されているとの事、未長く発展を続けられることを期待し、お祈りするばかりである。私の勤める中馬病院も大正4年に尼崎の現在地に病院を設立、数年先には100周年を迎えることになっている。

病院の開祖である祖父中馬興丸は、日露戦役に参戦帰国後、現在の開明町で医業を営んでいた。それ以前は寛永(1636年)頃に宮崎県日南市飢肥において医業に従っていたとの事である。以後、江戸に出て尼崎城主松平氏(後に桜井氏)に仕えて以来御典医となった。

興丸は衆議院議員を務める他、社会事業にも精を出したという記録がある。本校の設立に際しても、資金集めに素人芝居をするなど援助をしたらしい。

医業の方も十分な医療を受けられない大衆のため数社の会社・商店と協力して大正2年(1913年)に社員、従業員のために病院の設立に至ったと聞いている。

その後、発展的に現在の場所(開明町)に中馬病院を開設した。大正4年(1915年)のことである。以後、法人に改組したり変遷を経て今日に至っている。

興丸は大正12年尼崎市立中学(本校校医になつて)以来、「優」(昭和37年没)の後を継いで「勇」が校医となつた(平成22年迄)。現在は勇の長男「淳」が校医を勤めている。

この様に創立以来本校の変遷を身近に見て来たものにとつて、90周年を迎えるということは私の病院が100周年を迎えるのと同様、感無量のものがあります。

叔父も、兄も、従兄弟も本校でお世話になりました。時代時代で色々なことがありました。特に戦争、戦後の変革は大変なものでありました。

校訓も変わりましたが、今も私の行動に大きな影響を及ぼしているところがあります。

時代時代の先生方に色々とお教を頂きました。先輩・同期の仲間・今も時々クラス会を開いて語り合える仲間、有難いことだと思っております。県尼が益々発展していく事を期待しています。

会員からの寄稿

母校で定年退職を迎えて

常任理事 大西 俊樹（42 回生）

昭和41年4月県尼に入学をして、昭和44年の3月卒業しました私は、昭和49年に兵庫県の高等学校の体育の教員として赴任し、最後の十年間を母校県尼で教鞭をとることができ、無事三十七年の教職を全うする事が出来ました。

高校入学当時の県尼は、校舎は昔の洋館を思わせる風貌で歴史を感じさせる姿でした。戦後のベビーブームの後半の時代で、一クラス50名を超える人数で、一学年11クラス程の生徒数でした。生徒も優秀で、現役で京大や阪大に合格する県下でも有数の高等学校でした。また、先生方も優秀な方が多く、教師としての誇りや威厳をお持ちだったように記憶しています。

私はそんな中で、青春を謳歌させてもらいました。当時県尼では、体育祭・文化祭の他、弁論大会・水泳大会・球技大会、1年生は宿泊訓練、2年生は修学旅行、3年生はスケート教室・美容・マナー教室・フォークダンス等の行事がありました。そして数年後、水泳実習やスキー教室も阪神間で初めて行われました。

生徒会の活動も盛んで、クラブ紹介も各クラスが生徒会の指示のもと、

1年生の各クラスを回っていましたし、校歌や応援歌の指導も応援団が中心に行っていました。

また、生徒の自治も進んでいて、集会での整列で先生が行うことは無かったように思います。

こうした校風という歴史が続いていましたが、何時の頃からか、この様子も徐々に変わっていきます。大きな原因の一つは、入試制度の変革で、兵庫方式の導入でした。いわゆる地域性を重視するもので総合選抜制度と呼ばれるものでした。

今までは高校独自に単独で選抜出来たのが、尼崎市内の各普通科高校が集まり各校の受験生の10パーセントの単独選抜合格と、90パーセントの居住区域による総合選抜合格になったのです。そしてその後、コース制や学科制・単位制が出来ますが、県尼は普通科のみそのままでした。そんな中、私は平成13年4月県尼に赴任しました。校舎も変わり生徒の雰囲気も違っていて、高校時代の面影は殆んど在りませんでした。

しかし、尼崎の南の地域性は失われず、人懐っこい明るい雰囲気はせめてもの救いでした。また、職場に母校卒業生の先輩や後輩がおられて、色々お世話になり、助けられました。また、同窓会の仕事をさせて頂き、当時の会長の中馬先生や、理事長の故中松先生をはじめとして、多くの先輩諸氏の皆様方に助けて頂きました。

中でも平成16年の80周年は、私にとって記憶に残るものでした。あと、2年後には90周年がやって来ますがOBとして微力ながらお役に立てればと思っています。

私は、三十七年の教職で、多くの先輩諸氏の先生方や同僚に助けられ、勤める事が出来ました。そして、多くの生徒達に助けられ勤める事が出来ました。ここに改めて感謝とお礼を申し上げます。

私は初めての赴任校で、ある先輩の先生より、「一期一会」という言葉を頂戴し、自分の座右の銘にしてみました。私自身どんな教師だったかは分かりませんが、人の成長に携わること、勇氣や感動や夢を与え、そして真実を伝えられていたら幸いに思っています。今後数年でまた入試制度が大きく変わるようです。我が母校県尼がどのように発展していくのかは未知数ですが、現在、教育総合型も初めての卒業生を送り出し、今後に期待されております。現役の先生方や生徒達には、さらに頑張ってもらい、伝統を後世に繋いで頂きたいと願っています。そのためにも、同窓会としても協力を惜しまないつもりです。

最後に、母校県尼の益々の発展を、お祈りしつつ筆を置きます。



卒業50年目の三七会

野村 恭子（35 回生）

昭和37年3月に卒業してから30年目の平成4年に第一回目の学年全体の同窓会を開き、その後、5年毎に同窓会を開いて来ました。各クラスに幹事を2〜4人決め同窓生の消息の確認を取り合っています。

前回終了後、幹事の中から同窓会の名称を親しみやすい愛称にしよう!!と意見が出て皆で考え色々案が出ましたが何れも「帯に短し、たすきに長し」で、最後に37年卒業なので、「三七（サンナチ会）」とする事に落ち着きました。そして案内状の作成や配布をしなくても個々人で声かけをして、毎年3月7日には、皆で顔を合わせることとなりました。

毎年会う会の5回目が今年の卒業50年記念同窓会になります。50年記念の会なので今回は同窓生皆に案内を出す最後の回にして、1月末現在、参加を募っているところです。

同窓会に出席して改めて交友が始り、友人同士でゴルフの会を作ってプレーを楽しんでいるグループや、ハイキングの会と一緒に参加したりして同窓会を通じて新しい友人作りも広がっています。定年退職をして同窓会を楽しみに参加する人も多くなった様です。

三七会を「同窓生を繋ぐ会」として、これからも継続して行きたいと願っています。



写真:県尼 HP より

県尼高生クラブ活動紹介

23年度上位入賞成績一覧

運動部・文化部の幅広い展開と
各クラブ各地で大活躍、
社会貢献活動も実施しています。

陸上競技部

- * 第 61 回尼崎市民スポーツ祭
男子走高跳 第 1 位 松岡涼
- * 第 64 回阪神地区高校ジュニア陸上競技対校選手権大会
男子八種競技 第 1 位(大会新) 松岡涼
- * 第 53 回尼崎市陸上競技対校選手権大会
男子走高跳 第 1 位 松岡涼
- * 第 3 回神戸フルーツ・フラワーマラソン大会
5 部 5 km 女子 第 1 位 池原実穂
- * 第 7 回宝塚ハーフマラソン大会
女子クオータマラソン 第 1 位 池原実穂

柔道部

- * 尼崎市柔道選手権大会 男子 73 kg 級 優勝 白山晴喜

男子バドミントン部

- * 尼崎市市内高等学校総合体育大会 団体戦優勝

水泳部

- * 尼崎市民スポーツ祭水泳競技大会
 - ・ 男子 200m フリーリレー 第 1 位
寺元新悟・新田主税・青山一真・脇田翔矢
 - ・ 男子 200m メドレーリレー 第 1 位
脇田翔矢・多田泰朗・寺元新悟・新田主税
 - ・ 男子 50m 自由形 第 1 位 脇田翔矢
 - ・ 女子 200m フリーリレー 第 1 位
福岡涼佳・中尾真実・後藤朱里・小田なつき
- * 尼崎市民選手権水泳競技大会
 - ・ 男子 200m フリーリレー 第 1 位
吉川亮太・多田泰朗・清水亮秀・脇田翔矢
 - ・ 男子 50m 平泳ぎ 第 1 位 吉川亮太
 - ・ 一般男子 200m 個人メドレー 第 1 位 田中万逸

ラグビー部

- * 尼崎市長杯 準優勝

卓球部

- * 尼崎市民スポーツ祭 女子団体戦 優勝
- * 尼崎市長旗杯 女子団体戦 優勝
 - ・ 女子ダブルス優勝 本田優美子・原口彩
 - ・ 女子シングルス 優勝 本田優美子
- * 尼崎市新人卓球大会 女子団体戦 優勝

男子ハンドボール部

- * 北摂カップ 優勝
- * 阪神地区秋季リーグ戦男子 1 部 第 1 位
- * 兵庫県優秀選手賞 荒川優・吉田将貴

女子バレーボール部

- * 阪神地区秋季リーグ戦 7 部 優勝

吹奏楽部

- * 兵庫県吹奏楽コンクール東阪神地区大会 金賞

演劇部

- 兵庫県高等学校演劇研究会
阪神支部合同発表会 優良賞

美術部

- * 「ふれあい兵庫」
イラスト 採用 西出拓弥・高屋舗将司
- * 明るい選挙啓発ポスター
(兵庫県) 入選 増田由莉香
(尼崎市) 特選 増田由莉香
入選 岩郷奈江
- * 紙芝居甲子園 奨励賞 高屋舗将司・中西清喬
- * 第 35 階兵庫県高等学校総合文化祭 美術工芸部門
 - ・ 絵画の部 入選 玉城沙理・井伊香月
 - ・ デザインの部 入選 樋口理夏
 - ・ 工芸の部 入選 増田由莉香・岩郷奈江
- * 第 6 回絵のまち尾道四季展全国展
入選 西出拓弥
- * 第 84 回兵庫県小・中・高校絵画展
特選 高屋舗将司

JRC部 (青少年赤十字クラブ)

休暇中をはじめ空き時間にボランティア活動積極参加。
交通遺児チャリティフェスティバル・小学生スナック
ゴルフ介助・成人の日集い等々、数多くの活動に参加。

平成22年度 収支決算報告

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(収支決算)		(単位:円)
収入	支出	差引残高
19,252,032	471,469	18,780,563

(収入)				(単位:円)
科目	収入済額	本年度予算額	比較増減	
前年度繰越金	17,876,570	15,000,000	2,876,570	
会費収入	1,371,600	1,100,000	271,600	
預金利息	3,862	2,500	1,362	
寄付金	0	10,000	△10,000	
名簿売上金	0	5,000	△5,000	
CD売上金	0	10,000	△10,000	
合計	19,252,032	16,127,500	△3,124,532	

(支出)				(単位:円)
科目	支出済額	本年度予算額	比較増減	
事務費	77,469	100,000	△22,531	
会費払戻入	0	0	0	
転退職記念費	54,000	40,000	14,000	
クラブ振興費	200,000	200,000	0	
慶弔費	140,000	30,000	110,000	
名簿印刷費	0	250,000	△250,000	
会報発行費	0	200,000	△200,000	
人件費	0	110,000	△110,000	
合計	471,469	930,000	△458,531	

平成23年5月31日上記決算報告について公正に監査した結果、正しく執行されていることを認めました。

監査委員 安田 征 伍

監査委員 坂田 清 則

平成22年度決算報告と
平成23年度予算(案)

平成23年度予算(案)

平成23年度は学校、生徒の諸活動の一つとして、新たに文化振興費を位置づけました。

(収入)					(単位:円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明	
会費収入	1,467,000	1,100,000	367,000	815人分	
預金利息	1,000	2,500	△1,500	単価計上	
寄付金	1,000	10,000	△9,000	単価計上	
名簿売上金	0	5,000	△5,000		
CD売上金	1,000	10,000	△9,000	単価計上	
雑収入	1,000	0	1,000		
合計	1,471,000	1,127,500	343,500		

(支出)					(単位:円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明	
事務費	200,000	100,000	100,000	金庫購入	
転退職記念費	100,000	40,000	60,000		
クラブ振興費	250,000	200,000	50,000		
文化振興費	50,000	0	50,000	新規支援事業費	
慶弔費	50,000	30,000	20,000		
実費弁償費	120,000	110,000	10,000		
名簿印刷費	0	250,000	△250,000	名簿発行予定なし	
会報発行費	300,000	200,000	100,000		
予備費	401,000	0	401,000		
合計	1,471,000	930,000	541,000		

平成24年度の同窓会事業

学校行事への参加、クラブ振興への支援を行う一方、平成25年には県尼創立90周年を迎えるに当り、学校内に設置された記念誌編集委員会に、大西俊樹常任理事(42回生)が同窓会を代表して参加頂いています。

更に、長期休刊していた同窓会会報の再発行に向けて編集委員会を立ち上げ、高岡久副会長(31回生)に編集委員長をお願いしています。この他、同窓会ホームページのご意見も寄せられていますが、学校のホームページを有効に活用させていただく方向で検討しています。

主な事業項目

1. 学校行事への参加
 - (1) 県尼入学式
 - (2) 県尼文化祭
 - (3) クリスマス・ファミリーコンサート
 - (4) 県尼芸術祭鑑賞
 - (5) 県尼同窓会への入会式
 - (6) 県尼卒業式
2. 課外活動、芸術祭等への支援活動
3. 県尼創立90周年記念事業への取組
4. 県尼同窓会会報の発行



第64回 卒業証書授与式風景 平成24年2月29日



四季の移ろいが楽しめる県尼

同窓会理事長 土井 一孝(35回生)

冬將軍が威張る中、県尼を訪ねたときノースポールやパンジーが歓迎してくれ、心の温もりを感じた。同窓会の関係で1年を通じ幾度となく学校に足を運ぶが、季節の変わり目にはその都度草花を模様替えしている。

校門から玄関への通路に咲く花の種類が分ならず、花に「君の名前は」と問う楽しさ。

季節感が薄らぎつつある通学路、学び舎には四季の移ろいがある。

手の行き届いた晴れやかな表情の花を眺めていると、おおよそ半世紀前、県尼に入学した頃の自分の姿をいつも思い出す。



お知らせ

平成二十五年十一月二日(土)

◎創立九十周年記念式典

アルカイックホール (阪神尼崎駅北)
 ◎懇親会
 都ホテルニューアルカイック (阪神尼崎駅北)

同窓会役員紹介

平成22年度から石井良昌会長のもと、役員34名の皆さん方が同窓会の運営にご尽力頂いています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

名誉会長 中馬 勇(18回生)	常任理事 杉浦 誠一(34回生)
顧問 柳迫 敏博(校長)	常任理事 田村 信子(35回生)
相談役 小松原 勉(教頭)	常任理事 池邊 善夫(36回生)
相談役 福井 淳夫(事務局長)	常任理事 柴田 侃一(36回生)
会長 石井 良昌(36回生)	常任理事 吉福 末吉(38回生)
副会長 大附多美子(23回生)	常任理事 久保 恭利(39回生)
副会長 高岡 久(31回生)	常任理事 清水紀美江(39回生)
会 計 津川 圭司(36回生)	常任理事 野口 富也(39回生)
会 計 下境田耕治(57回生)	常任理事 石井 生滋(42回生)
理事長 土井 一孝(35回生)	常任理事 大西 俊樹(42回生)
監 査 安田 征伍(30回生)	常任理事 上野 晃司(43回生)
監 査 坂田 清則(36回生)	常任理事 奥村 純一(45回生)
常任理事 吉竹 昌之(19回生)	常任理事 前田 雅孝(45回生)
常任理事 濱本 正彦(5回生)	常任理事 津田加寿男(47回生)
常任理事 池邊 孝義(21回生)	常任理事 黒川 治(51回生)
常任理事 比嘉 嘉子(13回生)	常任理事 丸岡 鉄也(51回生)
常任理事 中川 敏行(32回生)	常任理事 山中 潤一(51回生)
常任理事 北村 保子(33回生)	

編集後記

同窓会会報は、暫く休刊となっていました。県尼創立90周年を次年度に迎えることを契機に、この度発行する運びとなりました。

まずは、原則として年1回の発行で進めてまいります。

歴史と伝統ある県尼で学んだ校友が、各界で活躍、豊かな経験を通じた情報交換・懇談、そして母校の益々の飛躍を願う思い等々、温もりある楽しい情報発信が出来るよう努めてまいります。

紙面に制約がありますが、県尼ファミリーの絆がより強くなる一助になれば幸いです。

皆様からの情報提供、例えば、各卒業年度別で実施の会合報告などの寄稿をお待ちしています。(写真添付可)

今後とも会報に関し、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

また、学校HPの同窓会コンテンツにも掲載致しますので、ご覧下さい。

編集委員

高岡 久(委員長)
 土井一孝・津川圭司
 大西俊樹・井上正夫



印刷

有限会社 アイプリント

(06)6482-8484